

# 委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

## 今号は 総務常任委員会に注目

私たちが委員です









大塚秀喜委員長 増田 豊副委員長 増田 昇委員 橋本位知朗委員 鈴木好史委員 市村 香委員 大塚健次委員

総務常任委員会では、市長公室・総務部・議会議務局・会計課・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・公平委員会・監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項を調査・審査します。

## コンビニ納付による滞納額削減を

景気低迷を受け、大幅に税収が減少する状況ではありませんが、市税については公平な課税に努めるとともに、新たなコンビニ納付を活用し、滞納額の削減を図るよう強く要望しました。

### 行財政改革の推進を

予算の執行に当たっては、ますます多様化する行政需要に対応するため、行財政改革を推進し、財政状況の確かな分析に基づく事務事業の継続的な見直しと、歳出全般の有効活用・効率化を図り、財政の健全化を図るよう強く要望しました。

### 合併特例債事業の早期推進を

合併特例債事業は、事業期間が後期に入っており、早期に調査費等をつけて、事業の推進を図るよう強く要望しました。

### 重要伝統的建造物群保存地区に民間バスの運行を

真壁の町並みは、茨城県初の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されますが、見学に訪れる人の増加に伴い交通手段の確保が重要になるため、民間バスの運行を県内のバス会社に強く働きかけていくことを要望しました。

**現地視察**を行いました  
【三月十六日】  
・多目的複合施設建設現場

## ごみ問題について

### 福祉環境常任委員会

委員長 萩原 實 副委員長 風野和規  
委員 林 悦子・横田 衛・川那子秀雄・高田重雄

ごみ減量対策については、資源ごみ回収による収益とリサイクル業務にかかる費用についての費用対効果をよく検証し、市民とともに日本一きれいなまちづくりを目指して努力するよう要望しました。

### 自主防災組織と広域消防の拡大、指令業務の一元化

災害から市民の生命・体・財産を守るため、自主防災組織は大変重要なもので、今後多くの組織結成を望みます。

また、筑西広域消防本部の通信設備は新しいものが整備されているため、県内指令業務

の一元化については、その必要性の有無を桜川市として十分検討するよう要望しました。

### ワクチン接種率の向上を

予防接種においては、ワクチン接種委託料のほとんどを市の一般財源で負担しており、国等からの補助が少ない状態です。

しかし、未受診者解消に向けて積極的に勧奨を行い、接種率の向上に努めるよう要望しました。

**委員会**を開催しました  
【三月十六日】

## 土地改良区の合併推進を

### 建設経済常任委員会

委員長 中川泰幸 副委員長 岩見正純  
委員 上野征一・塚本 明・仙波信綱・増田俊夫・皆川光吉

岩瀬土地改良区、泉川土地改良区、大和・真壁の土地改良区が「桜川市土地改良区」として合併を目的に法定合併協議会を設立することにしました。

合併すると会議の開催や総代の数、経費の削減などが図られ、行政のスリム化にもつながることから、平成二十四年度末までに合併できるよう要望しました。

### 重要路線の早期事業化を

県道東山田岩瀬線は、桜川筑西ICとつくば市及び下妻市を結ぶ重要な路線であるこ

**現地視察**を行いました  
【三月十五日】  
・岩瀬駅前整備事業現場

## 適応指導教室・さくらの広場設置について

### 文教常任委員会

委員長 小高友徳 副委員長 古川静子  
委員 菊池節子・小林正紀・相田一良・潮田新正

これまで、児童生徒の不登校・いじめ問題等の対応として、教育相談員による相談事業を週三日間、市内三カ所の公民館で実施してきました。

しかし、平成二十二年からは、より一層の充実を図るため、適応指導教室・さくらの広場が設置されます。相談員二名、カウンセラー一名体制での支援により、長期欠席等の問題を抱えた児童生徒の自立、学校生活への復帰の支援が期待されます。

### 予算の適正な執行と魅力あるまちづくりを

多目的複合施設建設事業については、適正

**現地視察**を行いました  
【三月十三日】  
・多目的複合施設建設現場  
・桃山中学校卓球場  
・真壁城址公園